



生徒が作り上げた体育大会

2020年度 プログラム

● 開会式・準備体操	⑦ 重量挙げ
① みんなでジャンプ	⑧ ピツタリ走れ!いいレース
② 100m 走	⑨ クロスカントリー
③ 200m 走	⑩ 男女混合リレー
④ ジャベリックスロー	⑪ 4×100m リレー(男女)
⑤ 男子1500m 走	● 閉会式
⑥ 女子800m 走	

【生徒会長 挨拶()】

皆さん、今日はいよいよ体育大会本番です。今年に入って初めての大きな行事です。皆さん、楽しむ準備はできていますか。1年生の皆さんは初めての体育大会ですね。去年、小学校から見学してくれた人もいますが、実際にやってみると見学するのでは、また違った景色が見られると思います。また、今日はふだんあまり見ることのない、他学年の活動や、学年・クラスで一致団結して応援することなど、様々なことが経験できる半日にできるよう過ごしましょう。

2年生の皆さんは、今日は3年生を手本にして動くのではなく、皆さん自身が1年生の手本となって動く日です。自分の持っている力を最大限に発揮して頑張ってください。今日を含めてあと2回の体育大会ですが、今年のクラスで参加できる体育大会はこの1回だけです。今日しか経験できない貴重な体育大会を過ごしてください。

私たち3年生は最後の体育大会です。今年は開催されなかった行事がたくさんありました。悔しかったし、悲しかったと思います。しかし、半日だけでも開催することができたこの日を、悔いを残さず、一生の思い出に残るようなかけがえのない日にしましょう。

この田尻中学校では、「学年という垣根」を越えて生徒全員で体育大会をつくり上げていきます。たった一人でも手を抜いてしまうと成立しません。「皆が一人のために」「一人が皆の為に」行動することが大切だと私は思います。今日の一日を私たちにしかできない動き・楽しみ方で心を一つに全力で取り組みましょう。

【競技場の注意】

・・・1年生の皆さんは、中学校の体育大会は自分たちで創り上げなければいけません。参加すること自体が初めてで、分からない所もあると思いますが、まずは全力で楽しんでください。その上で、先輩たちの動きをしっかりと見て、来年からの体育大会に生かしてください。2年生は去年の経験を活かし、全体の中心となり、1年生を姿勢で引っ張っていきよう頑張ってください。3年生は最後の体育大会です。午前だけの限られた時間ですが、全員が全力で行い、悔いの残らないように最後まで頑張ります。

3年A組

3年B組

3年C組

【選手宣誓】

私たち選手一同は、体育の授業をはじめ、部活や習い事で心身を鍛え、みんなで協力し合い、練習に励んできました。今日までの努力、積み重ねてきたことを発揮するときです。

今年は新型コロナウイルスの影響で、例年とは違う状況での開催ですが、たくさんの人の支えにより成り立っていることに心から感謝し、中止になった行事の分まで、精一杯頑張ります。

そして無事、今日という日を迎えられることを、当たり前ではなく、ありがたい気持ちで力に変え、この体育大会が全員の心にしっかりと残るよう、学校全体が一丸となって、最後まで正々堂々とやり遂げることを誓います。

令和2年9月17日 選手代表

3年A組

3年B組

3年C組

体育大会 ～みんなに感謝～

9月17日、体育大会が行われました。本年度は生徒と教職員だけで行いました。お子様の成長を見るのを楽しみにしておられた保護者の皆様のことを思いますと、仕方のないこととはいえ胸が痛みました。今回の決断にご理解ご協力いただきました保護者の皆様方には本当に感謝申し上げます。

生徒の皆さんにとっては、今年度はじめての行事で、特に3年生は最後の体育大会という思いを持って取り組むことができました。その思いは、皆さんの行動から伝わってきました。9月7日の初めての全体練習は、暑



さ対策のため1時間目に行いました。1時間だけの練習でしたが、できるだけ密をさけるために例年とは違う準備体操を曲にあわせて行いました。そして、クラスで大縄の練習を終えて、教室に戻り、しばらくすると大雨。結局1時間目以外は雨となり、全体練習を行うことができ、ほっとしたのと不思議な感じてした。その後、2回目の全体練習、予行、前日準備も皆さんは集中して練習や準備を行うことができスムーズにすすめることができました。準備は、グラウンド整備やライン引き、用具の準備まで生徒が中心になってしてくれました。



体育大会本番。朝から曇り空でしたが、生徒会長の力強いあいさつ、3年生体育委員からの諸注意。そして、選手宣誓。全体が引き締まった中、プログラムが始まりました。クラスごとの大縄跳び。クラスで声を掛け合い、懸命に飛ぶ姿は、どの学年もどのクラスも感動的でした。本年度は、体育委員で考えた種目「ぴつたり走れ!いいレース」が加わりました。30メートルの距離を「10秒ちょうど」をめざして走るのを競うレースでした。ちょうど10秒の人も出て、驚きました。すごい!重量挙げでは、11分11秒11という記録も出ました。ジャベリックスローやクロスカントリー、走る競技も個人走からリレーまで、みんな力を出し切ってがんばりました。体育大会を作り上げたのは選手のみなさんだけではありません。係の仕事は縮小されましたが、用具準備や計時、記録を取ってくれたりしました。美術部の製作したプログラム。学年ごとに作ってくれてありがとう。また、放送も実況を入れながら楽しく盛り上げてくれました。学校全体の一体感を感じられた時間でした。



全校生徒の前ではじめて話したあいさつの中で、「ルールを守り、フェアプレイ精神でベストを尽くす。準備をしてくれた仲間感謝し、応援をしてくれたみんなに感謝する。そんな気持ちで充実した時間となりますように、一人ひとりの努力と気配りをお願いします。」と言いましたが、どうでしたか。

体育大会が終わって、頭に浮かんでくる言葉は「感謝」です。
がんばった 生徒の皆さんに 感謝
がんばりを支えた 先生方に 感謝
支えてくださった保護者の皆様に感謝
地域の方々に 感謝 です。
おかげで 心に残る体育大会になりました。
ありがとうございます。 (織田 容子)

体育大会 新記録!! よくがんばりました!
3年生男女混合リレー 1分24秒40
メンバー

10月の予定

- 1日(木)3年第2回学力診断テスト
- 2日(金)3年英検(5,6限)
- 6日(火)前期生徒会役員取り組み(7限)・検尿
- 7日(水)検尿
- 13日(火)1年モアレ検査
- 15日(木)中間テスト
- 16日(金)〃
- 19日(月)~23日(金)個人相談週間
- 19日(月)全校集会
- 23日(金)PTA役員会(19:00~)
- 26日(月)後期生徒会役員選挙告示
- 29日(木)歯科検診(8:40~)
- 30日(金)3年生進路説明会



田尻町婦人会より千羽鶴を頂きました。

「田尻町婦人会からです!」
9月24日(木)、教育委員会の方が千羽鶴をもって来校されました。添えられていたお手紙には、「いつも登下校の見守りで、明るい皆さんの顔を見て元気をもらっています」と感謝の言葉を頂き、この大変な時期に常にマスクを欠かさず勉強や運動に頑張る姿に対し、少しでも力になればと思い、「皆さんの健康と、これからの明るい未来を願って(鶴を)折りました」とつづられていました。
何と温かい贈り物でしょうか。日々の皆さんの頑張りをしっかりと見てくださる方々の存在は非常に有難いことです。私たちはこの思いに応えるべく、これからも日々の取り組みをますます充実させていきましょう。
田尻町婦人会の皆様、誠にありがとうございました。

学校で学ぶことの意義

先日の体育大会は、子どもたちの成長を大いに感じる1日でした。
まず、1年生。初めての本格的学校行事でありながら、戸惑いながらも懸命に練習や競技に取り組む姿が印象的でした。先輩たちとの合同練習を経て、本番に臨んだ「みんなでジャンプ」は、声を合わせ、教わった縄の回し方に気を付けながら頑張りました。飛んだ回数ではなく、皆と「心を合わせようとした過程」の大切さを学びました。

次に、2年生。すでに部活動の中心となって活動して1ヶ月が経ちました。周りを見て自分のすべきことを判断して行動し、後輩に気を配る姿が見られるようになりました。体育大会では、そんな日常の努力の成果が表れ、競技にてきぱきとした行動で臨みました。また、裏方として計時・決勝・審判・用具などの仕事を通して、「人を陰で支える」事の大切さも同時に学びました。

そして、3年生。3年目を迎えるこの体育大会も、今年は思い入れが違います。進路選択を控え、学級や学年・学校全体で行う、唯一の行事。全校が集うこの空間に、単に「楽しむ」だけではなく、「大切な何かを伝える」という強い思いが感じられました。行事が開催されることへの感謝。ありがたいことだと感じたことを行動に示し尽力する姿。具体的には、授業や全体練習から真剣に取り組む、後輩に対して惜しみないアドバイスを送りました。そして迎えた当日。体育大会は、生徒会長や体育委員から気持ちのこもったあいさつで始まりました。1つ1つの種目に懸命に取り組む、必死に仲間を応援する姿を、選手宣誓の通り「ありがたい気持ちを力に変え、最後まで正々堂々と」見届けることができました。3年生が伝えたかった「大切な何か」とは、まず自分が本気で頑張り、次に仲間の頑張りを精一杯支えるという、まさに「自立・友愛」の校訓を行動で示すものでした。

さて、今回の体育大会から、私は、改めて「学校で学ぶ意義」を考えることができたように思います。それは、「仲間とともに学び合うことが、個人で学び続けるよりも大きな効果を生む」ということです。

1人1人に教科書・ノート・ワークさえ与えられれば、各家庭などで個別に学習をすすめることは可能です。しかし、教科書の同じ資料を見ても、人によって感じ方や着目点、疑問に思う内容はさまざまです。そして、それを皆で出し合うことで、自分と同じ考えを共有できます。また反対に、自分とは違う考えに気づく事ができます。討論を重ねることで、さまざまな意見が集約され、授業前には考え付かなかった結論に至ることもあります。体育や美術、音楽といった技能教科では、他人がスポーツに取り組む姿



や、絵・歌声などから感動が生まれます。そして、走り方や絵画や合唱の技法について「あ、こうすればうまくいくんだ!自分もやってみよう」などと自分に取り入れることができます。…そして何より、教え合い・仲間の協力をとおして学級・学年の団結力が高まり、お互いが「かけがえのない存在」になります。

人間関係力が急速に成長する義務教育の時期は、2つの「感じ取る力」の育成が不可欠だと考えます。

1つ目は、直接、自分の目や耳などを使って状況を観察し、目に映る情報がどのような背景や原因によるものなのかを分析する力。そして、自分がどのように体を使っているか(表現しているか)を認知する力です。例えば、「速く走る」ために、どのような姿勢で、腕を振り、ももを上げ、地面を蹴っているかなど…。そして、自分がイメージした通りに正しく体を使っているか、ということです。

2つ目は、どのような「思い」をもって取り組んだかを想像する力、洞察力です。人の行動には必ず「心」が込められています。「誰よりも速く走りたい」「自分の気持ちを絵や彫刻・歌で表現したい」「人を元気にさせる作品を届けたい」…など。

これらの力は、感受性の豊かな小学生や中学生の時期に、できるだけ「直接」触れることで研ぎ澄まされていきます。お子様を持つ方は、わが子を幼いころから、できるだけ自然に触れさせたり、体を動かす経験をさせたりしたことがあると思います。

そして、学校では、同じ教材を用いて、学習や体験を「集団」でおこないます。そこで、自分にできることと、努力が必要なことを知る。他人の行動を見て、憧れを抱いたり、競争心が芽生えたりします。人の意見を聞いて「なるほど!」と納得したり、反論を持ったりすることもあります。互いの意見が対立し、口論やトラブルに発展することだってあります。…しかし、そうした「直接のかかわり」によって、互いを理解し、他人の立場に立つことができるようになります。そして、集団内での自分の役割を理解し、それぞれが100%の力を発揮できるようになる事、これこそが学校で学ぶ意義です。学校で学びを終えた人間は、やがて社会に出ます。そこで、また新たな集団の中で、自己の力を発揮し、集団の団結が求められるのです。社会の中で「もまれる」ことでさらに成長します。

リモート通信技術を使えば、お互いが離れていても授業ができます。わざわざ集まらなくても、各家庭で好きな動画を好きな時間に見ることができます。インターネットやアプリを使えば、各教科の個別学習が簡単にできる時代です。しかし、それらを「より効果的に」活用するためには、画面の向こうの人の気持ちを感じ取れる力が大切ではないでしょうか。

体育大会を終え、充実した顔つきで帰宅したお子様の様子から、大きく成長した姿を感じ取っていただけたなら、幸いに存じます。田尻中の生徒たちは自身の競技や役割に精いっぱい取り組み、かけがえのない仲間たちを懸命に支え、集団としてよりたくましく成長してくれました。

(こども支援コーディネーター 横井武志)